木戸コミ協情報

新潟市木戸地域コミュニティ協議会
新潟市東区中山4-2-6
電話(025)288-5293

第3回新潟市コミュニティ交流会

自治振興部会

平成29年11月8日（水）、第3回を数える新潟市コミュニティ交流会が巻地域保健福祉センターおよび割烹三笠屋を会場に開催されました。

木戸コミ協と西蒲区の巻地区まちづくり協議会が中心となって発足した交流会も今年度は8区24コミ協82人、行政関係者12人の大きな会となりました。

保健福祉センターで開会セレモニーの後、巻地区の歴史旧跡や産業工場等の見学会で、①ワイナリーコース、②種月寺と酒蔵宝山酒造コース、③北国街道まち歩きコース、④米百俵三根山藩巡りコース、⑤岩室温泉街歩きコース、⑥西蒲区の他区にはない農業コースを6組に分かれて見てきました。いずれも興味深いコースでした。

割烹三笠屋では軽食を挟んで2コミ協からの活動事例発表がありました。西区真砂小学校区コミ協からは「飛砂対策事業」、秋葉区小須戸コミ協からは「地域の宝の発見から町づくりへ」と題して素晴らしい取り組みと成果を報告してもらいました。全体会の後、懇親会に入りました。

次年度は巻地区まちづくり協議会から幹事を引き継ぐ木戸コミ協としましては責任重大ですが、英知を集めて交流事業のますますの発展を企画したいと思います。

長谷川徳昭理事長による開会あいさつ

来賓あいさつの野島晶子市民生活部長

米百俵三根山藩巡りコース

農業コースの水耕栽培工場

真砂小学校区コミ協の事例発表

秋葉区小須戸コミ協の事例発表

地域と小学校が一体となって「防災訓練」

新潟市木戸地域防災会

今年は例年実施している内容の外に大雨災害、津波災害時に対しての訓練を企画しました。木戸地域防災会には、竹尾小学校と木戸小学校が指定避難所になっておりますので、それぞれの地域で訓練を実施しました。

竹尾小学校地域の訓練は平成29年10月15日（日）実施しました。小学校の体育館内で、防災訓練の開会式後、講師からは小学校地域の地形の成り立ちからすると、大雨災害時には被害が発生する可能性があること、そのためには日ごろから準備し、対策などを立てておかねばならないことを聴きました。

その後、小学校の屋上避難訓練を実施しました。参加者は457人で屋上から周囲を見渡して、万一の場合ここまで避難すれば助かることを確認してもらいました。今後に生かしてまいりましょう。

木戸小学校地域は、11月5日（日）に実施しました。参加者は312人でした。

校舎が立て替えられた木戸小学校は、屋上避難のための階段が取り付けられ、地域の住民が災害時には道路から直接学校の屋上への避難ができるようになりました。今までの校舎で蜂の巣のような形の建物が無くなり普通の建物に代わりましたが、外から屋上への階段は昔懐かしい蜂の巣の校舎のイメージで作られておりました。

階段の中は両側に手すりが付いており、高齢者でも安心して屋上まで上がれるようになっています。

自然災害はいつ発生するか分からないのですが、災害列島日本と言われるように、地震、台風、豪雪、大雨など近年は温暖化のせいで、特にその発生頻度が増えています。今まで以上に大きな災害が各地で発生しています。地震災害も日本列島全体が活動期に入ったようで、大きな被害が頻発しています。また、大きな地震は津波も引き起こします。

新潟地震から54年経過しましたが、当時を体験した人も少なくないと思います。昔のことと忘れていませんか、自分の命を守るための、生き残っていくための訓練をこれからも企画実施してまいります。防災に関心を持っていただくこと、各自備えを怠らないことが大切であることは論を待ちません。

参加されました皆さん、あらためてお疲れさまでした。

大野誠一代表によるあいさつ

自治会ごとに整然と集合

ビニール袋を用いた応急手当

心肺蘇生の実地訓練

炊き出し食作業中

赤十字のご協賛に感謝！

蜂の巣校舎跡の避難階段塔

屋上避難訓練

東日本大震災の被災地「いわき市」へ防災研修

木戸地域防災会と木戸コミ協防災防犯部会が共催で平成29年9月20日（水）、7年前（2011・3・11）の東日本大震災で最大震度6強に見舞われた福島県いわき市へ防災研修に行ってまいりました。大地震による大津波と「福島第一原子力発電所事故」の自然災害と人的災害の複合災害におそわれたいわき市を訪れ、現在でも約7万6千人が福島県から避難している実態を知りました。いわき市の被害状況は人的被害が466人、建物被害が91、180棟で、そのほとんどが「沿岸部津波」による被害でした。

総勢60余人、バス2台に分乗して、昼前にいわき市地域防災交流センター（久之浜・大久支所ふれあい館）に到着、地元の語り部と落ち合いました。ふれあい館では防災関連施設や資料室（震災時の写真展示）を案内して、震災当時の悲惨さを語ってくれました。災害時には避難所として機能するふれあい館はマニュアルもしっかり作られていました。震災時、地盤沈下でプレートが太平洋側へ数メートルも移動したという久之浜海岸、復興工事で10メートルもかさ上げした防災緑地帯、高台移転と宅地造成がそこかしこに見られましたが、むしろ過疎化に拍車をかけているとの話も聞きました。

昼からは、ひばりの歌碑でも有名な「塩屋埼灯台」を見ながら、小名浜に移動。いわき市観光物産センター（いわきらら ミュウ）に到着。2階には東日本大震災時の写真展示場がありました。震災と復興を模擬体験したり、地震発生時の空港が津波にのまれ、セスナやヘリが流れていくビデオ画面を目の当たりにすると、あらためて自然の強大さに身震いしてしまいました。

被災現地を訪れて、地震の怖さを改めて思い知るとともに日ごろの「そなえ」が重要であることはもちろん、再生、復興の難しさを一同感じた研修会でした。

最後に、語り部さんは震災後も忘れずに新潟から来てくれたことに大変感謝していました。

いざという時、ここをけ破って入るとか…

ふれあい館前に到着

津波に襲われた当時の久之浜

館内避難施設の説明

復興のシンボル新商業施設「浜風きらら」前

久之浜のパノラマを見ながらの説明

塩谷埼灯台

放射線量計測大型表示装置

昼食後、新舞子ハイツで記念撮影

避難当時の現場を再現

ららミュウ2F東日本大震災展入口

臨戦態勢で東区地域「情報伝達訓練」

防災防犯部会

平成29年11月15日（水）、薄曇りの朝9時から、木戸コミ協は東区総務課・地域課と情報伝達訓練を実施しました。13日（月）午後5時30分、新潟県下越地方内陸部で断層直下型地震が発生し、電気、ガス、水道は停止しているという状況で、東区で余震が断続的に続き、家屋の倒壊や道路陥没が多数みられ、指定避難所にもはいれない多くの市民が近隣の公園や自治会館などに避難しているとの想定で実施しました。

コミ協災害対策本部を木戸小学校に置き、木戸小、竹尾小、東新潟中、木戸コミセンの指定避難所と一時避難場所として木戸公民館、山木戸会館との災害無線で交信連絡を行いました。指定避難所は一時避難場所からの状況報告をコミ協本部へ、本部は集計の上、東区本部へ報告という流れで展開されました。

指示を出す大野防災防犯部会長

犯罪被害防止「地域安全マップづくり」

学校部会

犯罪に遭わないための「地域安全マップづくり」を今年度も学年行事として行いました。

平成29年9月30日（土）に、竹尾小学校の4年生42人（9班）が、10月29日（日）には、木戸小学校の5年生60人（12班）が、それぞれの学校区内において「入りやすく、見えにくい」＝「犯罪が起こりやすい場所」を探して歩きました。参加したみんなが、日ごろ気にしていない場所に危険があることを、感じ取っていました。

作ったマップは、新潟県地域安全マップコンテストに応募し、県内74作品の中から竹尾小学校の「竹尾安全グループ」チームが特別賞を受賞しました。

完成した地図を示して発表中（木戸小）

雨の中のフィールドワーク（木戸小）

調査の成果を説明中（竹尾小）

地域のマップ作成中（木戸小）

12月19日、竹尾小の表彰式

地域貢献活動「絆づくり」

中学生が地域の高齢者と交流会

平成29年10月12日（木）と14日（土）に東新潟中学校の生徒と地域との交流が行われました。

12日は3年生と地域の高齢者との交流会が、木戸コミセンと山木戸会館の2会場で開催されました。各会場とも生徒約30人で最初に合唱を披露し、その後、生徒が用意した「お年寄りと共に生きる」をテーマに意見交換を行いました。お年寄りたちからは「生徒は孫のようにみんな良い子でした」との高い評価でした。

14日は地域貢献活動「絆づくり」ということで1、2年生が地域の公園や道路沿いの除草、清掃を住民と一緒に行ってくれました。

ご苦労さま、ありがとうございました。

コミセンで合唱披露

コミセンでの交流会

山木戸会館での合唱

山木戸会館での交流会

中山団地での除草清掃

陶芸教室

竹尾小学校ふれあいスクール

平成29年9月13日（水）、27日（水）
会　場：竹尾小学校図工室
参加者：児童14人、幼児1人、大人10人
講　師：吉田いずみさん、井筒進さん

世界にたった一つの宝物を作りました。

吉田先生の指導で始まった作品作り

色鮮やかに個性豊かな作品完成

ほっか ほかの

米粉パンづくり

木戸小学校ふれあいスクール

平成29年10月21日（土）
会場：木戸小学校家庭科室
参加者：児童41人、スタッフ8人

米粉、砂糖、牛乳を混ぜて蒸せば出来上り。簡単そうですが、子どもたちは真剣そのものです。出来上ったら、みんなで米粉パンとお茶をいただきました。

レーズンをトッピング

ふっくらと出来上り

指導を受けて盛り付け

三世代交流 第25回木戸地区音楽芸能文化祭

自治振興部会

平成29年11月3日（祝）、「三世代交流音楽芸能文化祭」が東区プラザホールで開催されました。300人収容のホールは、今年も子どもたちの発表会には多くの立ち見が出るほどの超満員でした。発表者もこれに応え、演奏・歌声・芸能など日ごろ練習してきた成果を遺憾なく発揮して、舞台と観客が一体となった発表会でした。

中年バンド「ノーウェアメン」

３世代全員によるオープニング

みんな一緒に歌って踊って終演

東新潟中学校吹奏楽部の演奏

ティーボール教室

竹尾小学校ふれあいスクール

平成29年11月25日（土）
会場：竹尾小学校体育館
参加者：児童16人、幼児3人、大人8人
講師：五十嵐章大さん

ティーボールとはボールを載せる台（ティー）の上にボールを置いてバットで打って、後は野球のようにベースを走って回って、得点を競うゲームのことです。ボールもバットも軟らかいウレタン製で比較的安全です。

ゲームは学年によってベースの距離を変えて点数が入るようにしたりして楽しみます。体育館では「アウト」、「セーフ」と大きな声が響き渡っていました。

講師からバッティング指導

ボールをよく見て！

みんなでバッティング練習

投球練習

女の子も負けずに

たまごキャンドル作り

竹尾小学校ふれあいスクール

クリスマスの飾りにピッタリのカラフルなキャンドルがたくさんできました。

卵の殻にゼリー状のワックスを溶かして固めた、色とりどりのキャンドルに子どもたちが飾り付けをしたものです。みんなで世界にひとつを楽しみました。

日時：12月6日（水）
会場：竹尾小学校図工室
講師：大野英子さん
参加者：60人（児童52人、大人8人）

講師の指導で仕上げのニス塗り

たまごにかわいい紙を貼る

保護者も一緒に

男の子たちも大勢参加して

おはよう朝ごはん料理講習会

学校部会・環境食品部会

平成29年12月9日（土）「おはよう朝ごはん料理講習会」が竹尾小学校で開催されました。

参加人数は27人（うち児童9人）でした。

今回は「パッククッキング」（時短料理）の講習で、講師から調理方法の説明を受けながら、料理途中の加熱時間を利用して、紙食器の作り方を教えてもらったり、食事の大切さや、減塩指導がありました。

献立は

主食…ごはん　おにぎり1個分　お米60グラムと水90ミリリットルをポリ袋に入れてパッキング、30分程度そのままにし、98度の熱湯に30分入れる。

主食…蒸しパン

副食…キャベツとサバのカレー風味

〃　親子丼

汁物…野菜スープ

果物…みかん

出来上った料理は、おいしくいただきました。

調理中

出来上り

料理４人分

講師あいさつ後、説明に

歳末餅つき大会

東区社会福祉協議会地域世代交流事業

竹尾地区民生委員児童委員協議会

平成29年12月25日（月）、竹尾小学校で初めての餅つき大会が行われました。始めにひまわり教室で、交通安全講習を区役所総務課の担当者から「自転車の安全な乗り方」についてパネルやスライドを使って分かりやすく説明、指導をしていただきました。参加した児童（77人）も熱心に聞いていました。

続いて、体育館に移動して「餅つき大会」が行われました。みんな、出来上ったあんこやきな粉餅・豚汁をおいしそうにいただきました。餅つきは子どもたちにとっても楽しい体験となったことでしょう。子どもたちのついた餅はお供えとしてひまわり教室にも飾られました。

今回は民生委員児童委員の全面的なご協力をいただきました。

婦人部による
あん餅・きな粉餅作り

つき立ての餅
いただきま～す

みんなで餅つきにトライ

自転車乗り安全講習会

新年餅つき大会

東区社会福祉協議会地域世代交流事業

木戸ひまわりクラブ運営委員会

平成30年1月20日（土）木戸小学校で木戸ひまわりクラブ・ふれあいスクールの新年餅つき大会が行われました。児童109人、中学生2人、幼児10人、大人・スタッフ65人の総勢186人が集まりました。

餅つき大会は大好評で、みんなでつきたての餅と、スタッフが作ってくれたおいしい豚汁を腹いっぱいいただきました。

出来た餅にあんこやきな粉を付けて

餅のつき方を教わって

みんなでいただきま～す

こんなもんかな？ペッタンコ

木戸小校舎竣工！
地域の拠点としての学校に

木戸小学校 教頭　髙橋　宏昌

平成29年11月18日（土）に校舎竣工記念式典を開催しました。当日はたくさんのご来賓や保護者、地域の皆さまにおいでいただきました。

木戸地域コミュニティ協議会さまには、校舎改築基本計画検討の時からご尽力いただきました。例えば、はちのす校舎のイメージを残すようにとのご意見をいただき、図書室や教室表示板などの形状に反映されました。新校舎は子どもの学びの場としてだけでなく、地域のふれあいや学びの拠点としても活用できます。

さらに、災害発生時の避難ビルでもあり、屋外階段や防災備蓄倉庫なども設置されました。まさに、地域の拠点としての新生、木戸小学校の誕生です。

今後は子どもがより一層ふるさと木戸地域の人やものの場所に触れ、よさを実感して成長できるように教育活動に取り組んでいきます。木戸地域コミュニティ協議会さまの変わらぬご支援をよろしくお願いします。

竣工なった木戸小

長沼智之校長あいさつ

山木戸7区の子ども会

はちのす型の表示板

110番の日の防犯活動

中山交番地区防犯協会
木戸交番地区防犯協会

特殊詐欺事件が、テレビや新聞などで報じられるようになって久しいですが、一向に収まる気配がありません。そんな中で、「110番の日」の1月10日（水）、木戸交番と中山交番地域防犯協会が、スーパー店頭で被害防止のチラシ配布や町内の防犯パトロールを実施しました。

現職警察官も一緒に

おれおれ詐欺に気を付けて